

## インターバンクの声（2015年3月24日）

週明け月曜日の海外市場も米2月中古住宅販売件数の発表があった程度で、相場材料には乏しかったものの、金曜日に続いてユーロや豪ドルの上昇が顕著だった。一部の市場参加者から注目された米連邦準備制度理事会（FRB）フィッシャー副議長講演は、年内の利上げを正当化しながらも、その後の利上げペースは景気動向次第で、市場が思い描いているような連続的な利上げがあるとの見通しを否定する内容だった。副議長の講演が影響した部分もあったと思われるが、米国債相場が続伸、市場は超低金利が当面続くとの見方に再び傾きつつあるようだ。ここ数日のドルの下落で、米輸出企業の業績悪化懸念もやや低下、原油価格の上昇にもなっているようだが、原油価格については来月辺りからの需要期に対する需給調整期待も織り込まれ始めたようだ。さらには金価格、銅価格など商品市況にも好影響となったが、問題はこのトレンドが長続きしてくれるのかどうかだ。この後すぐドルの反発が起こるような気配はないが、FRB正副両議長が繰り返しているように、今後の利上げ判断は経済指標次第としていることもあり、また来週の金曜日に迫った米雇用統計に向かって日々の指標結果に細かく反応する相場展開が続きそうだ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。